

過去の生活保護基準見直しによる
影響分析について
(追加資料)

④生活保護受給世帯と一般世帯の社会的必需項目の不足状況（1／7）

高齢者単身世帯

生活保護受給世帯

(単位：%、%pt)
n=214 n=254 n=247

社会的必需項目	平成22年7月		平成28年7月		令和元年7月	
	該当割合 (A)	該当割合 (B)	(B)－(A)	該当割合 (C)	(C)－(B)	
Q1 食事の頻度（1日2回以上） （回答）していない（金銭的に余裕がないから）		1.3 < 0.8 >	(-)	1.2 < 0.7 >	(▲0.1) < 1.0 >	
Q2 肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度（毎日） （回答）摂っていない（金銭的に余裕がないから）		5.9 < 1.6 >	(-)	1.9 < 0.9 >	(▲4.0) * < 1.8 >	
Q3 野菜の摂取の頻度（1日1回以上） （回答）摂っていない（金銭的に余裕がないから）		3.2 < 1.2 >	(-)	1.2 < 0.7 >	(▲2.0) < 1.4 >	
Q4 新しい下着の購入頻度（1年に1回以上） （回答）ほとんど購入しない	10.3 < 2.5 >	14.5 < 2.4 >	(+4.2) < 3.4 >	18.2 < 2.5 >	(+3.7) < 3.5 >	
Q5 必要な時に医者にかかれること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	0.0 < 0.0 >	0.8 < 0.6 >	(+0.8) < 0.6 >	0.0 < 0.0 >	(▲0.8) < 0.6 >	
Q6 必要な時に歯医者にかかれること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	2.7 < 1.3 >	2.4 < 1.0 >	(▲0.3) < 1.7 >	0.8 < 0.6 >	(▲1.7) < 1.2 >	
Q7 炊飯器の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	2.4 < 1.2 >	2.1 < 1.0 >	(▲0.3) < 1.6 >	1.8 < 0.9 >	(▲0.3) < 1.3 >	
Q8 電気掃除機の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	2.4 < 1.2 >	3.0 < 1.1 >	(+0.6) < 1.7 >	4.2 < 1.3 >	(+1.2) < 1.7 >	
Q9 電話（固定電話）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）		1.4 < 0.8 >	(-)	3.4 < 1.2 >	(+2.0) < 1.4 >	
Q10 携帯電話（スマートフォン、PHSを含む）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	8.7 < 2.3 >	6.3 < 1.6 >	(▲2.4) < 2.8 >	5.2 < 1.4 >	(▲1.2) < 2.2 >	
Q11 親戚の冠婚葬祭への出席 （回答）ほとんど・まったく出席しない （金銭的に余裕がないから）	15.5 < 2.9 >	12.5 < 2.2 >	(▲3.0) < 3.7 >	12.8 < 2.2 >	(+0.2) < 3.1 >	
Q12 急な出費への対応 （回答）対応できない		78.6 < 2.8 >	(-)	69.5 < 3.0 >	(▲9.1) * < 4.1 >	
Q13 生命保険等への加入（死亡・障害・病気など） （回答）加入していない（金銭的に余裕がないから）	36.0 < 3.9 >	37.7 < 3.3 >	(+1.7) < 5.1 >	31.3 < 3.0 >	(▲6.3) < 4.4 >	

一般世帯

(単位：%、%pt)
n=2,087 n=2,478 n=2,576

社会的必需項目	平成22年7月		平成28年7月		令和元年7月	
	該当割合 (A)	該当割合 (B)	(B)－(A)	該当割合 (C)	(C)－(B)	
Q1 食事の頻度（1日2回以上） （回答）していない（金銭的に余裕がないから）		0.8 < 0.2 >	(-)	0.4 < 0.2 >	(▲0.4) < 0.3 >	
Q2 肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度（毎日） （回答）摂っていない（金銭的に余裕がないから）		3.1 < 0.5 >	(-)	1.8 < 0.4 >	(▲1.3) * < 0.6 >	
Q3 野菜の摂取の頻度（1日1回以上） （回答）食べていない（金銭的に余裕がないから）		1.6 < 0.3 >	(-)	0.9 < 0.3 >	(▲0.7) < 0.4 >	
Q4 新しい下着の購入頻度（1年に1回以上） （回答）ほとんど購入しない	14.8 < 1.0 >	16.4 < 1.0 >	(+1.6) < 1.4 >	13.6 < 0.9 >	(▲2.8) * < 1.4 >	
Q5 必要な時に医者にかかれること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	1.4 < 0.3 >	0.7 < 0.2 >	(▲0.7) < 0.4 >	0.5 < 0.2 >	(▲0.3) < 0.3 >	
Q6 必要な時に歯医者にかかれること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	3.2 < 0.5 >	2.6 < 0.4 >	(▲0.6) < 0.7 >	1.6 < 0.3 >	(▲1.1) * < 0.5 >	
Q7 炊飯器の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	1.5 < 0.3 >	0.3 < 0.1 >	(▲1.2) * < 0.4 >	0.3 < 0.1 >	(+0.0) < 0.2 >	
Q8 電気掃除機の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	0.7 < 0.2 >	0.8 < 0.2 >	(+0.1) < 0.3 >	0.3 < 0.1 >	(▲0.5) < 0.3 >	
Q9 電話（固定電話）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）		0.6 < 0.2 >	(-)	0.6 < 0.2 >	(+0.1) < 0.3 >	
Q10 携帯電話（スマートフォン、PHSを含む）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	2.9 < 0.5 >	1.5 < 0.3 >	(▲1.4) * < 0.6 >	1.1 < 0.3 >	(▲0.4) < 0.4 >	
Q11 親戚の冠婚葬祭への出席 （回答）ほとんど・まったく出席しない （金銭的に余裕がないから）	2.8 < 0.5 >	2.0 < 0.4 >	(▲0.8) < 0.6 >	2.0 < 0.4 >	(+0.0) < 0.5 >	
Q12 急な出費への対応 （回答）対応できない		28.4 < 1.2 >	(-)	20.6 < 1.1 >	(▲7.9) * < 1.6 >	
Q13 生命保険等への加入（死亡・障害・病気など） （回答）加入していない（金銭的に余裕がないから）	16.4 < 1.1 >	13.1 < 0.9 >	(▲3.3) * < 1.4 >	13.6 < 0.9 >	(+0.5) < 1.3 >	

- ※ 上記は「家庭の生活実態及び生活意識に関する調査」による集計。同調査では、生活保護受給世帯は社会保障生計調査の調査世帯を対象とし、一般世帯は国民生活基礎調査の一部を対象としている。
- ※ 生活保護受給世帯の集計は、世帯類型別・級地別に被保護世帯（被保護者調査による全数）を母集団とする拡大乗数を設定して集計。
- ※ 被保護世帯と一般世帯の世帯類型・地域構成の違い、及び、経年の世帯類型・地域構成の変化による影響を除去する観点から、被保護世帯と一般世帯のいずれの集計も、令和元年度被保護者調査における世帯類型・級地構成により補正している。
- ※ 社会的必需品項目は、先行研究「2011暮らしに関する意識調査」（社会的必需品調査）＜厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）「貧困・格差の実態と貧困対策の効果に関する研究」（平成22～24年度、研究代表者 阿部彩）＞の調査結果より、社会的必需項目であると判定された項目（50%以上の回答者が必要であると回答したもの）に対応する同調査の項目を選定している。
- ※ 生活保護受給世帯における社会的必需項目の不足状況は、様々な要因により変化するものであり、必ずしも生活扶助基準の見直しによる変化を示すものではない。
- ※ 上記の世帯類型には、集計世帯数がわずかな世帯類型が含まれていることから、数字の評価をするにあたっては、相当程度の幅をもって見る必要がある。
- ※ <>内は各集計結果にかかる標準誤差。| [平均の差] | > 1.96 × [標準誤差] の場合に表中に * 印をつけている。

④生活保護受給世帯と一般世帯の社会的必需項目の不足状況（2／7）

高齢者2人世帯

生活保護受給世帯

(単位：%、%pt)
n=115 n=139 n=168

社会的必需項目	平成22年7月		平成28年7月		令和元年7月	
	該当割合 (A)	該当割合 (B)	(B)－(A)	該当割合 (C)	(C)－(B)	
Q1 食事の頻度（1日2回以上） （回答）していない（金銭的に余裕がないから）		0.0 < 0.0 >	(-) < 0.0 >	0.7 < 0.7 >	(+0.7) < 0.7 >	
Q2 肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度（毎日） （回答）摂っていない（金銭的に余裕がないから）		0.7 < 0.8 >	(-) < 0.8 >	4.8 < 1.8 >	(+4.1) * < 2.0 >	
Q3 野菜の摂取の頻度（1日1回以上） （回答）食べていない（金銭的に余裕がないから）		1.4 < 1.1 >	(-) < 1.1 >	1.8 < 1.1 >	(+0.4) < 1.5 >	
Q4 新しい下着の購入頻度（1年に1回以上） （回答）ほとんど購入しない	17.0 < 3.8 >	14.5 < 3.2 >	(▲2.6) < 5.0 >	11.6 < 2.7 >	(▲2.8) < 4.2 >	
Q5 必要な時に医者にかかれること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	0.0 < 0.0 >	1.4 < 1.0 >	(+1.4) < 1.0 >	0.0 < 0.0 >	(▲1.4) < 1.0 >	
Q6 必要な時に歯医者にかかれること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	2.4 < 1.6 >	3.6 < 1.7 >	(+1.1) < 2.3 >	0.0 < 0.0 >	(▲3.6) * < 1.7 >	
Q7 炊飯器の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	3.9 < 2.0 >	0.7 < 0.8 >	(▲3.2) < 2.1 >	0.3 < 0.5 >	(▲0.4) < 0.9 >	
Q8 電気掃除機の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	0.6 < 0.8 >	3.3 < 1.6 >	(+2.7) < 1.8 >	1.5 < 1.0 >	(▲1.8) < 1.9 >	
Q9 電話（固定電話）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）		2.7 < 1.5 >	(-) < 1.0 >	1.5 < 1.0 >	(▲1.1) < 1.8 >	
Q10 携帯電話（スマートフォン、PHSを含む）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	9.0 < 2.9 >	4.5 < 1.9 >	(▲4.5) < 3.5 >	1.7 < 1.1 >	(▲2.8) < 2.2 >	
Q11 親戚の冠婚葬祭への出席 （回答）ほとんど・まったく出席しない （金銭的に余裕がないから）	15.5 < 3.7 >	12.6 < 3.0 >	(▲2.9) < 4.8 >	12.0 < 2.7 >	(▲0.6) < 4.1 >	
Q12 急な出費への対応 （回答）対応できない		83.1 < 3.4 >	(-) < 3.4 >	72.9 < 3.8 >	(▲10.2) * < 5.0 >	
Q13 生命保険等への加入（死亡・障害・病気など） （回答）加入していない（金銭的に余裕がないから）	37.9 < 5.0 >	46.5 < 4.5 >	(+8.6) < 6.7 >	37.5 < 4.1 >	(▲9.0) < 6.1 >	

一般世帯

(単位：%、%pt)
n=2,371 n=2,864 n=2,836

社会的必需項目	平成22年7月		平成28年7月		令和元年7月	
	該当割合 (A)	該当割合 (B)	(B)－(A)	該当割合 (C)	(C)－(B)	
Q1 食事の頻度（1日2回以上） （回答）していない（金銭的に余裕がないから）		0.1 < 0.1 >	(-) < 0.1 >	0.4 < 0.2 >	(+0.2) < 0.2 >	
Q2 肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度（毎日） （回答）摂っていない（金銭的に余裕がないから）		1.4 < 0.3 >	(-) < 0.3 >	0.6 < 0.2 >	(▲0.8) * < 0.4 >	
Q3 野菜の摂取の頻度（1日1回以上） （回答）食べていない（金銭的に余裕がないから）		0.4 < 0.2 >	(-) < 0.2 >	0.2 < 0.1 >	(▲0.2) < 0.2 >	
Q4 新しい下着の購入頻度（1年に1回以上） （回答）ほとんど購入しない	7.3 < 0.7 >	7.8 < 0.7 >	(+0.5) < 1.0 >	6.6 < 0.7 >	(▲1.3) < 1.0 >	
Q5 必要な時に医者にかかれること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	0.2 < 0.1 >	0.4 < 0.2 >	(+0.2) < 0.2 >	0.1 < 0.1 >	(▲0.3) < 0.2 >	
Q6 必要な時に歯医者にかかれること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	1.2 < 0.3 >	2.0 < 0.4 >	(+0.8) < 0.5 >	0.9 < 0.3 >	(▲1.1) * < 0.5 >	
Q7 炊飯器の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	1.0 < 0.3 >	0.2 < 0.1 >	(▲0.8) * < 0.3 >	0.0 < 0.0 >	(▲0.2) < 0.1 >	
Q8 電気掃除機の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	0.4 < 0.2 >	0.1 < 0.1 >	(▲0.2) < 0.2 >	0.1 < 0.1 >	(▲0.1) < 0.1 >	
Q9 電話（固定電話）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）		0.1 < 0.1 >	(-) < 0.1 >	0.0 < 0.1 >	(▲0.1) < 0.1 >	
Q10 携帯電話（スマートフォン、PHSを含む）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	2.4 < 0.4 >	1.3 < 0.3 >	(▲1.1) * < 0.5 >	0.4 < 0.2 >	(▲0.9) * < 0.3 >	
Q11 親戚の冠婚葬祭への出席 （回答）ほとんど・まったく出席しない （金銭的に余裕がないから）	0.9 < 0.3 >	0.5 < 0.2 >	(▲0.4) < 0.3 >	0.8 < 0.2 >	(+0.3) < 0.3 >	
Q12 急な出費への対応 （回答）対応できない		19.4 < 1.1 >	(-) < 1.1 >	13.8 < 0.9 >	(▲5.6) * < 1.4 >	
Q13 生命保険等への加入（死亡・障害・病気など） （回答）加入していない（金銭的に余裕がないから）	8.3 < 0.8 >	9.5 < 0.8 >	(+1.2) < 1.1 >	7.4 < 0.7 >	(▲2.1) * < 1.1 >	

- ※ 上記は「家庭の生活実態及び生活意識に関する調査」による集計。同調査では、生活保護受給世帯は社会保障生計調査の調査世帯を対象とし、一般世帯は国民生活基礎調査の一部を対象としている。
- ※ 生活保護受給世帯の集計は、世帯類型別・級地別に被保護世帯（被保護者調査による全数）を母集団とする拡大乗数を設定して集計。
- ※ 被保護世帯と一般世帯の世帯類型・地域構成の違い、及び、経年の世帯類型・地域構成の変化による影響を除去する観点から、被保護世帯と一般世帯のいずれの集計も、令和元年度被保護者調査における世帯類型・級地構成により補正している。
- ※ 社会的必需品項目は、先行研究「2011暮らしに関する意識調査」（社会的必需品調査）＜厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）「貧困・格差の実態と貧困対策の効果に関する研究」（平成22～24年度、研究代表者 阿部彰）＞の調査結果より、社会的必需項目であると判定された項目（50%以上の回答者が必要であると回答したもの）に対応する同調査の項目を選定している。
- ※ 生活保護受給世帯における社会的必需項目の不足状況は、様々な要因により変化するものであり、必ずしも生活扶助基準の見直しによる変化を示すものではない。
- ※ 上記の世帯類型には、集計世帯数がわずかな世帯類型が含まれていることから、数字の評価をするにあたっては、相当程度の幅をもってみる必要がある。
- ※ <>内は各集計結果にかかる標準誤差。| [平均の差] | > 1.96 × [標準誤差]の場合に表中に*印をつけている。

④生活保護受給世帯と一般世帯の社会的必需項目の不足状況（3／7）

母子2人世帯

生活保護受給世帯

(単位：%、%pt)

社会的必需項目	n=117		n=84		n=60	
	平成22年7月		平成28年7月		令和元年7月	
	該当割合 (A)	該当割合 (B)	(B)－(A)	該当割合 (C)	(C)－(B)	
Q1 食事の頻度（1日2回以上） （回答）していない（金銭的に余裕がないから）		1.0 < 1.2 >	(-)	0.0 < 0.0 >	(▲1.0) < 1.2 >	
Q2 肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度（毎日） （回答）摂っていない（金銭的に余裕がないから）		3.1 < 2.1 >	(-)	3.0 < 2.5 >	(▲0.1) < 3.3 >	
Q3 野菜の摂取の頻度（1日1回以上） （回答）食べていない（金銭的に余裕がないから）		6.8 < 3.1 >	(-)	2.1 < 2.1 >	(▲4.6) < 3.8 >	
Q4 新しい下着の購入頻度（1年に1回以上） （回答）ほとんど購入しない	11.5 < 3.9 >	11.7 < 4.0 >	(+0.2) < 5.6 >	13.3 < 4.9 >	(+1.6) < 6.3 >	
Q5 必要な時に医者にかかること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	2.0 < 1.7 >	0.6 < 0.9 >	(▲1.4) < 2.0 >	0.0 < 0.0 >	(▲0.6) < 0.9 >	
Q6 必要な時に歯医者にかかること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	2.1 < 1.8 >	1.3 < 1.4 >	(▲0.7) < 2.3 >	0.0 < 0.0 >	(▲1.3) < 1.4 >	
Q7 炊飯器の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	13.6 < 4.2 >	1.5 < 1.5 >	(▲12.2) * < 4.5 >	0.0 < 0.0 >	(▲1.5) < 1.5 >	
Q8 電気掃除機の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	2.2 < 1.8 >	2.8 < 2.0 >	(+0.5) < 2.7 >	3.2 < 2.6 >	(+0.4) < 3.3 >	
Q9 電話（固定電話）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）		21.8 < 5.1 >	(-)	18.4 < 5.6 >	(▲3.4) < 7.6 >	
Q10 携帯電話（スマートフォン、PHSを含む）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	1.9 < 1.7 >	0.6 < 0.9 >	(▲1.3) < 1.9 >	0.0 < 0.0 >	(▲0.6) < 0.9 >	
Q11 親戚の冠婚葬祭への出席 （回答）ほとんど・まったく出席しない （金銭的に余裕がないから）	22.7 < 5.2 >	19.5 < 4.9 >	(▲3.2) < 7.1 >	18.3 < 5.6 >	(▲1.1) < 7.5 >	
Q12 急な出費への対応 （回答）対応できない		80.5 < 4.9 >	(-)	74.7 < 6.3 >	(▲5.7) < 8.0 >	
Q13 生命保険等への加入（死亡・障害・病気など） （回答）加入していない（金銭的に余裕がないから）	38.4 < 6.0 >	54.3 < 6.2 >	(+15.9) < 8.6 >	46.4 < 7.2 >	(▲7.9) < 9.5 >	

一般世帯

(単位：%、%pt)

社会的必需項目	n=90		n=106		n=74	
	平成22年7月		平成28年7月		令和元年7月	
	該当割合 (A)	該当割合 (B)	(B)－(A)	該当割合 (C)	(C)－(B)	
Q1 食事の頻度（1日2回以上） （回答）していない（金銭的に余裕がないから）		0.2 < 0.7 >	(-)	0.0 < 0.0 >	(▲0.2) < 0.7 >	
Q2 肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度（毎日） （回答）摂っていない（金銭的に余裕がないから）		4.1 < 2.9 >	(-)	0.3 < 1.3 >	(▲3.8) < 3.2 >	
Q3 野菜の摂取の頻度（1日1回以上） （回答）食べていない（金銭的に余裕がないから）		0.7 < 1.2 >	(-)	1.1 < 2.5 >	(+0.4) < 2.8 >	
Q4 新しい下着の購入頻度（1年に1回以上） （回答）ほとんど購入しない	12.6 < 5.4 >	15.5 < 5.3 >	(+3.0) < 7.6 >	5.9 < 5.6 >	(▲9.7) < 7.7 >	
Q5 必要な時に医者にかかること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	1.3 < 1.9 >	0.0 < 0.0 >	(▲1.3) < 1.9 >	0.3 < 1.3 >	(+0.3) < 1.3 >	
Q6 必要な時に歯医者にかかること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	2.0 < 2.3 >	3.3 < 2.6 >	(+1.4) < 3.5 >	1.9 < 3.2 >	(▲1.5) < 4.2 >	
Q7 炊飯器の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	3.8 < 3.1 >	0.3 < 0.8 >	(▲3.5) < 3.3 >	0.0 < 0.0 >	(▲0.3) < 0.8 >	
Q8 電気掃除機の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	6.3 < 4.0 >	4.8 < 3.1 >	(▲1.6) < 5.1 >	1.0 < 2.3 >	(▲3.8) < 3.9 >	
Q9 電話（固定電話）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）		10.7 < 4.5 >	(-)	2.6 < 3.8 >	(▲8.1) < 5.9 >	
Q10 携帯電話（スマートフォン、PHSを含む）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	0.0 < 0.0 >	0.0 < 0.0 >	(+0.0) < 0.0 >	0.0 < 0.0 >	(+0.0) < 0.0 >	
Q11 親戚の冠婚葬祭への出席 （回答）ほとんど・まったく出席しない （金銭的に余裕がないから）	8.4 < 4.5 >	2.5 < 2.3 >	(▲5.9) < 5.1 >	1.5 < 2.9 >	(▲1.0) < 3.7 >	
Q12 急な出費への対応 （回答）対応できない		58.1 < 7.2 >	(-)	46.2 < 11.8 >	(▲11.9) < 13.9 >	
Q13 生命保険等への加入（死亡・障害・病気など） （回答）加入していない（金銭的に余裕がないから）	26.9 < 7.3 >	18.9 < 5.7 >	(▲8.0) < 9.3 >	15.4 < 8.6 >	(▲3.5) < 10.3 >	

- ※ 上記は「家庭の生活実態及び生活意識に関する調査」による集計。同調査では、生活保護受給世帯は社会保障生計調査の調査世帯を対象とし、一般世帯は国民生活基礎調査の一部を対象としている。
- ※ 生活保護受給世帯の集計は、世帯類型別・級地別に被保護世帯（被保護者調査による全数）を母集団とする拡大乗数を設定して集計。
- ※ 被保護世帯と一般世帯の世帯類型・地域構成の違い、及び、経年の世帯類型・地域構成の変化による影響を除去する観点から、被保護世帯と一般世帯のいずれの集計も、令和元年度被保護者調査における世帯類型・級地構成により補正している。
- ※ 社会的必需項目は、先行研究「2011暮らしに関する意識調査」（社会的必需品調査）＜厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）「貧困・格差の実態と貧困対策の効果に関する研究」（平成22～24年度、研究代表者 阿部彩）＞の調査結果より、社会的必需項目であると判定された項目（50%以上の回答者が必要であると回答したもの）に対応する同調査の項目を選定している。
- ※ 生活保護受給世帯における社会的必需項目の不足状況は、様々な要因により変化するものであり、必ずしも生活扶助基準の見直しによる変化を示すものではない。
- ※ 上記の世帯類型には、集計世帯数がわずかな世帯類型が含まれていることから、数字の評価をするにあたっては、相当程度の幅をもってみる必要がある。
- ※ <>内は各集計結果にかかる標準誤差。|平均の差| > 1.96 × [標準誤差]の場合に表中に*印をつけている。

④生活保護受給世帯と一般世帯の社会的必需項目の不足状況（4／7）

母子3人世帯

生活保護受給世帯

一般世帯

(単位：%、%pt)
n=76 n=38 n=38

(単位：%、%pt)
n=80 n=73 n=55

社会的必需項目	平成22年7月		平成28年7月		令和元年7月	
	該当割合 (A)	該当割合 (B)	(B) - (A)	該当割合 (C)	(C) - (B)	
Q1 食事の頻度（1日2回以上） （回答）していない（金銭的に余裕がないから）		1.4 < 2.3 >	(-)	0.0 < 0.0 >	(▲1.4) < 2.3 >	
Q2 肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度（毎日） （回答）摂っていない（金銭的に余裕がないから）		1.4 < 2.3 >	(-)	2.0 < 3.4 >	(+0.6) < 4.1 >	
Q3 野菜の摂取の頻度（1日1回以上） （回答）食べていない（金銭的に余裕がないから）		10.5 < 6.1 >	(-)	1.9 < 3.4 >	(▲8.6) < 6.9 >	
Q4 新しい下着の購入頻度（1年に1回以上） （回答）ほとんど購入しない	4.0 < 3.4 >	8.7 < 5.6 >	(+4.6) < 6.5 >	1.0 < 2.4 >	(▲7.7) < 6.1 >	
Q5 必要な時に医者にかかれること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	0.0 < 0.0 >	0.0 < 0.0 >	(+0.0) < 0.0 >	10.8 < 7.7 >	(+10.8) < 7.7 >	
Q6 必要な時に歯医者にかかれること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	1.0 < 1.7 >	0.0 < 0.0 >	(▲1.0) < 1.7 >	10.8 < 7.7 >	(+10.8) < 7.7 >	
Q7 炊飯器の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	1.5 < 2.1 >	0.0 < 0.0 >	(▲1.5) < 2.1 >	0.0 < 0.0 >	(+0.0) < 0.0 >	
Q8 電気掃除機の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	1.5 < 2.1 >	0.0 < 0.0 >	(▲1.5) < 2.1 >	6.0 < 5.9 >	(+6.0) < 5.9 >	
Q9 電話（固定電話）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）		2.9 < 3.3 >	(-)	7.9 < 6.7 >	(+5.0) < 7.5 >	
Q10 携帯電話（スマートフォン、PHSを含む）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	4.3 < 3.5 >	0.0 < 0.0 >	(▲4.3) < 3.5 >	0.0 < 0.0 >	(+0.0) < 0.0 >	
Q11 親戚の冠婚葬祭への出席 （回答）ほとんど・まったく出席しない （金銭的に余裕がないから）	14.5 < 6.1 >	12.0 < 6.4 >	(▲2.5) < 8.8 >	16.7 < 9.2 >	(+4.7) < 11.2 >	
Q12 急な出費への対応 （回答）対応できない		70.0 < 9.0 >	(-)	72.8 < 11.0 >	(+2.8) < 14.3 >	
Q13 生命保険等への加入（死亡・障害・病気など） （回答）加入していない（金銭的に余裕がないから）	47.3 < 8.6 >	31.0 < 9.1 >	(▲16.3) < 12.6 >	48.1 < 12.4 >	(+17.1) < 15.4 >	

社会的必需項目	平成22年7月		平成28年7月		令和元年7月	
	該当割合 (A)	該当割合 (B)	(B) - (A)	該当割合 (C)	(C) - (B)	
Q1 食事の頻度（1日2回以上） （回答）していない（金銭的に余裕がないから）		1.0 < 2.1 >	(-)	1.2 < 3.8 >	(+0.2) < 4.3 >	
Q2 肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度（毎日） （回答）摂っていない（金銭的に余裕がないから）		0.0 < 0.0 >	(-)	1.2 < 3.8 >	(+1.2) < 3.8 >	
Q3 野菜の摂取の頻度（1日1回以上） （回答）食べていない（金銭的に余裕がないから）		3.1 < 3.6 >	(-)	1.2 < 3.8 >	(▲1.8) < 5.2 >	
Q4 新しい下着の購入頻度（1年に1回以上） （回答）ほとんど購入しない	5.3 < 4.2 >	11.3 < 6.6 >	(+6.0) < 7.8 >	6.7 < 8.6 >	(▲4.6) < 10.9 >	
Q5 必要な時に医者にかかれること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	1.1 < 1.9 >	1.6 < 2.6 >	(+0.5) < 3.2 >	1.5 < 4.2 >	(▲0.1) < 4.9 >	
Q6 必要な時に歯医者にかかれること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	1.5 < 2.3 >	1.8 < 2.8 >	(+0.3) < 3.6 >	1.4 < 4.1 >	(▲0.4) < 5.0 >	
Q7 炊飯器の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	3.1 < 3.2 >	0.5 < 1.4 >	(▲2.6) < 3.5 >	0.0 < 0.0 >	(▲0.5) < 1.4 >	
Q8 電気掃除機の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	1.1 < 1.9 >	1.6 < 2.6 >	(+0.5) < 3.3 >	0.0 < 0.0 >	(▲1.6) < 2.6 >	
Q9 電話（固定電話）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）		16.0 < 7.6 >	(-)	2.8 < 5.7 >	(▲13.1) < 9.5 >	
Q10 携帯電話（スマートフォン、PHSを含む）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	0.4 < 1.2 >	0.8 < 1.8 >	(+0.3) < 2.2 >	0.0 < 0.0 >	(▲0.8) < 1.8 >	
Q11 親戚の冠婚葬祭への出席 （回答）ほとんど・まったく出席しない （金銭的に余裕がないから）	4.0 < 3.6 >	2.4 < 3.2 >	(▲1.6) < 4.8 >	0.3 < 1.8 >	(▲2.1) < 3.7 >	
Q12 急な出費への対応 （回答）対応できない		72.1 < 9.4 >	(-)	31.5 < 16.0 >	(▲40.6) *	
Q13 生命保険等への加入（死亡・障害・病気など） （回答）加入していない（金銭的に余裕がないから）	19.6 < 7.4 >	36.8 < 10.1 >	(+17.2) < 12.5 >	6.5 < 8.5 >	(▲30.2) *	

- ※ 上記は「家庭の生活実態及び生活意識に関する調査」による集計。同調査では、生活保護受給世帯は社会保障生計調査の調査世帯を対象とし、一般世帯は国民生活基礎調査の一部を対象としている。
- ※ 生活保護受給世帯の集計は、世帯類型別・級地別に被保護世帯（被保護者調査による全数）を母集団とする拡大乗数を設定して集計。
- ※ 被保護世帯と一般世帯の世帯類型・地域構成の違い、及び、経年の世帯類型・地域構成の変化による影響を除去する観点から、被保護世帯と一般世帯のいずれの集計も、令和元年度被保護者調査における世帯類型・級地構成により補正している。
- ※ 社会的必需品項目は、先行研究「2011暮らしに関する意識調査」（社会的必需品調査）＜厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）「貧困・格差の実態と貧困対策の効果に関する研究」（平成22～24年度、研究代表者 阿部彰）＞の調査結果より、社会的必需項目であると判定された項目（50%以上の回答者が必要であると回答したもの）に対応する同調査の項目を選定している。
- ※ 生活保護受給世帯における社会的必需項目の不足状況は、様々な要因により変化するものであり、必ずしも生活扶助基準の見直しによる変化を示すものではない。
- ※ 上記の世帯類型には、集計世帯数がわずかな世帯類型が含まれていることから、数字の評価をするにあたっては、相当程度の幅をもってみる必要がある。
- ※ <>内は各集計結果にかかる標準誤差。| [平均の差] | > 1.96 × [標準誤差] の場合に表中に*印をつけている。

④生活保護受給世帯と一般世帯の社会的必需項目の不足状況（5／7）

その他(※)の単身世帯

生活保護受給世帯

(単位：％、％pt)
n=189 n=246 n=189

社会的必需項目	平成22年7月		平成28年7月		令和元年7月	
	該当割合 (A)	該当割合 (B)	(B)－(A)	該当割合 (C)	(C)－(B)	
Q1 食事の頻度（1日2回以上） （回答）していない（金銭的に余裕がないから）		3.0 < 1.1 >	(-)	7.7 < 2.1 >	(+4.6) * < 2.4 >	
Q2 肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度（毎日） （回答）摂っていない（金銭的に余裕がないから）		4.7 < 1.4 >	(-)	7.5 < 2.0 >	(+2.8) < 2.5 >	
Q3 野菜の摂取の頻度（1日1回以上） （回答）食べていない（金銭的に余裕がないから）		6.1 < 1.6 >	(-)	10.1 < 2.3 >	(+4.0) < 2.8 >	
Q4 新しい下着の購入頻度（1年に1回以上） （回答）ほとんど購入しない	12.7 < 2.6 >	11.0 < 2.1 >	(▲1.7) < 3.3 >	19.3 < 3.1 >	(+8.4) * < 3.7 >	
Q5 必要な時に医者にかかれること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	1.3 < 0.9 >	0.7 < 0.6 >	(▲0.6) < 1.1 >	0.3 < 0.4 >	(▲0.4) < 0.7 >	
Q6 必要な時に歯医者にかかれること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	2.7 < 1.2 >	4.5 < 1.4 >	(+1.9) < 1.9 >	2.2 < 1.1 >	(▲2.4) < 1.8 >	
Q7 炊飯器の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	6.5 < 1.9 >	1.4 < 0.8 >	(▲5.1) * < 2.1 >	0.6 < 0.6 >	(▲0.8) < 1.0 >	
Q8 電気掃除機の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	5.1 < 1.7 >	2.8 < 1.1 >	(▲2.3) < 2.0 >	8.0 < 2.1 >	(+5.2) * < 2.4 >	
Q9 電話（固定電話）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）		9.6 < 2.0 >	(-)	7.2 < 2.0 >	(▲2.4) < 2.8 >	
Q10 携帯電話（スマートフォン、PHSを含む）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	11.1 < 2.4 >	1.8 < 0.9 >	(▲9.3) * < 2.6 >	2.7 < 1.3 >	(+0.9) < 1.5 >	
Q11 親戚の冠婚葬祭への出席 （回答）ほとんど・まったく出席しない （金銭的に余裕がないから）	21.5 < 3.2 >	19.2 < 2.6 >	(▲2.3) < 4.1 >	19.1 < 3.1 >	(▲0.1) < 4.0 >	
Q12 急な出費への対応 （回答）対応できない		79.0 < 2.7 >	(-)	72.2 < 3.5 >	(▲6.8) < 4.4 >	
Q13 生命保険等への加入（死亡・障害・病気など） （回答）加入していない（金銭的に余裕がないから）	39.4 < 3.8 >	42.2 < 3.3 >	(+2.7) < 5.0 >	35.2 < 3.7 >	(▲7.0) < 5.0 >	

一般世帯

(単位：％、％pt)
n=2,103 n=1,800 n=1,757

社会的必需項目	平成22年7月		平成28年7月		令和元年7月	
	該当割合 (A)	該当割合 (B)	(B)－(A)	該当割合 (C)	(C)－(B)	
Q1 食事の頻度（1日2回以上） （回答）していない（金銭的に余裕がないから）		2.1 < 0.4 >	(-)	1.0 < 0.3 >	(▲1.1) * < 0.6 >	
Q2 肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度（毎日） （回答）摂っていない（金銭的に余裕がないから）		3.6 < 0.6 >	(-)	2.7 < 0.5 >	(▲0.9) < 0.8 >	
Q3 野菜の摂取の頻度（1日1回以上） （回答）食べていない（金銭的に余裕がないから）		3.0 < 0.5 >	(-)	3.6 < 0.6 >	(+0.6) < 0.8 >	
Q4 新しい下着の購入頻度（1年に1回以上） （回答）ほとんど購入しない	12.2 < 0.9 >	12.6 < 1.0 >	(+0.4) < 1.4 >	9.8 < 1.0 >	(▲2.8) * < 1.4 >	
Q5 必要な時に医者にかかれること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	3.9 < 0.5 >	2.2 < 0.5 >	(▲1.6) * < 0.7 >	2.0 < 0.5 >	(▲0.3) < 0.6 >	
Q6 必要な時に歯医者にかかれること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	5.9 < 0.7 >	4.3 < 0.6 >	(▲1.6) < 0.9 >	3.2 < 0.6 >	(▲1.1) < 0.9 >	
Q7 炊飯器の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	2.5 < 0.4 >	0.6 < 0.2 >	(▲2.0) * < 0.5 >	0.5 < 0.2 >	(▲0.0) < 0.3 >	
Q8 電気掃除機の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	2.5 < 0.4 >	2.3 < 0.5 >	(▲0.1) < 0.6 >	1.3 < 0.4 >	(▲1.0) < 0.6 >	
Q9 電話（固定電話）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）		2.7 < 0.5 >	(-)	1.2 < 0.4 >	(▲1.4) * < 0.6 >	
Q10 携帯電話（スマートフォン、PHSを含む）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	1.2 < 0.3 >	0.9 < 0.3 >	(▲0.3) < 0.4 >	0.5 < 0.2 >	(▲0.4) < 0.4 >	
Q11 親戚の冠婚葬祭への出席 （回答）ほとんど・まったく出席しない （金銭的に余裕がないから）	3.9 < 0.5 >	3.1 < 0.5 >	(▲0.8) < 0.8 >	1.9 < 0.4 >	(▲1.2) < 0.7 >	
Q12 急な出費への対応 （回答）対応できない		36.2 < 1.5 >	(-)	25.7 < 1.4 >	(▲10.5) * < 2.1 >	
Q13 生命保険等への加入（死亡・障害・病気など） （回答）加入していない（金銭的に余裕がないから）	15.6 < 1.0 >	15.0 < 1.1 >	(▲0.5) < 1.5 >	11.6 < 1.0 >	(▲3.4) * < 1.5 >	

※ 「その他の世帯」は、高齢者世帯・母子世帯以外の世帯。傷病者・障害者世帯を含む。

※ 上記は「家庭の生活実態及び生活意識に関する調査」による集計。同調査では、生活保護受給世帯は社会保障生計調査の調査世帯を対象とし、一般世帯は国民生活基礎調査の一部を対象としている。

※ 生活保護受給世帯の集計は、世帯類型別・級地別に被保護世帯（被保護者調査による全数）を母集団とする拡大乗数を設定して集計。

※ 被保護世帯と一般世帯の世帯類型・地域構成の違い、及び、経年の世帯類型・地域構成の変化による影響を除去する観点から、被保護世帯と一般世帯のいずれの集計も、令和元年度被保護者調査における世帯類型・級地構成により補正している。

※ 社会的必需項目は、先行研究「2011暮らしに関する意識調査」（社会的必需品調査）＜厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）「貧困・格差の実態と貧困対策の効果に関する研究」（平成22～24年度、研究代表者 阿部彩）＞の調査結果より、社会的必需項目であると判定された項目（50%以上の回答者が必要であると回答したもの）に対応する同調査の項目を選定している。

※ 生活保護受給世帯における社会的必需項目の不足状況は、様々な要因により変化するものであり、必ずしも生活扶助基準の見直しによる変化を示すものではない。

※ 上記の世帯類型には、集計世帯数がわずかな世帯類型が含まれていることから、数字の評価をするにあたっては、相当程度の幅をもって見る必要がある。

※ <>内は各集計結果にかかる標準誤差。| [平均の差] | > 1.96 × [標準誤差]の場合に表中に*印をつけている。

④生活保護受給世帯と一般世帯の社会的必需項目の不足状況（6／7）

その他(※)の2人世帯

生活保護受給世帯

社会的必需項目	n=185		n=167		n=175	
	平成22年7月		平成28年7月		令和元年7月	
	該当割合 (A)	該当割合 (B)	(B)－(A)	該当割合 (C)	(C)－(B)	
Q1 食事の頻度（1日2回以上） （回答）していない（金銭的に余裕がないから）		2.2 < 1.2 >	(-)	5.2 < 2.1 >	(+3.0) < 2.4 >	
Q2 肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度（毎日） （回答）摂っていない（金銭的に余裕がないから）		7.4 < 2.1 >	(-)	2.6 < 1.5 >	(▲4.7) < 2.6 >	
Q3 野菜の摂取の頻度（1日1回以上） （回答）食べていない（金銭的に余裕がないから）		5.4 < 1.9 >	(-)	3.2 < 1.7 >	(▲2.2) < 2.5 >	
Q4 新しい下着の購入頻度（1年に1回以上） （回答）ほとんど購入しない	12.1 < 2.9 >	13.1 < 2.8 >	(+1.1) < 4.0 >	17.9 < 3.6 >	(+4.8) < 4.6 >	
Q5 必要な時に医者にかかれること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	3.7 < 1.7 >	0.5 < 0.6 >	(▲3.3) < 1.7 >	0.3 < 0.5 >	(▲0.1) < 0.8 >	
Q6 必要な時に歯医者にかかれること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	7.4 < 2.3 >	3.8 < 1.6 >	(▲3.6) < 2.8 >	1.5 < 1.2 >	(▲2.3) < 1.9 >	
Q7 炊飯器の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	4.7 < 1.9 >	1.3 < 0.9 >	(▲3.4) < 2.1 >	0.5 < 0.7 >	(▲0.8) < 1.1 >	
Q8 電気掃除機の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	2.4 < 1.3 >	3.9 < 1.6 >	(+1.5) < 2.1 >	6.4 < 2.3 >	(+2.5) < 2.8 >	
Q9 電話（固定電話）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）		6.0 < 1.9 >	(-)	8.5 < 2.6 >	(+2.5) < 3.3 >	
Q10 携帯電話（スマートフォン、PHSを含む）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	9.5 < 2.6 >	3.3 < 1.5 >	(▲6.2) * < 3.0 >	7.9 < 2.6 >	(+4.6) < 3.0 >	
Q11 親戚の冠婚葬祭への出席 （回答）ほとんど・まったく出席しない （金銭的に余裕がないから）	23.4 < 3.7 >	23.4 < 3.5 >	(▲0.0) < 5.1 >	21.6 < 3.9 >	(▲1.8) < 5.2 >	
Q12 急な出費への対応 （回答）対応できない		84.6 < 3.0 >	(-)	76.5 < 4.0 >	(▲8.1) < 5.0 >	
Q13 生命保険等への加入（死亡・障害・病気など） （回答）加入していない（金銭的に余裕がないから）	43.5 < 4.3 >	43.7 < 4.1 >	(+0.1) < 6.0 >	38.1 < 4.6 >	(▲5.6) < 6.1 >	

一般世帯

社会的必需項目	n=3,687		n=3,467		n=3,207	
	平成22年7月		平成28年7月		令和元年7月	
	該当割合 (A)	該当割合 (B)	(B)－(A)	該当割合 (C)	(C)－(B)	
Q1 食事の頻度（1日2回以上） （回答）していない（金銭的に余裕がないから）		0.5 < 0.2 >	(-)	0.4 < 0.1 >	(▲0.1) < 0.2 >	
Q2 肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度（毎日） （回答）摂っていない（金銭的に余裕がないから）		1.2 < 0.2 >	(-)	0.7 < 0.2 >	(▲0.4) < 0.3 >	
Q3 野菜の摂取の頻度（1日1回以上） （回答）食べていない（金銭的に余裕がないから）		1.0 < 0.2 >	(-)	0.9 < 0.2 >	(▲0.1) < 0.3 >	
Q4 新しい下着の購入頻度（1年に1回以上） （回答）ほとんど購入しない	6.2 < 0.5 >	6.9 < 0.6 >	(+0.7) < 0.8 >	6.4 < 0.6 >	(▲0.5) < 0.8 >	
Q5 必要な時に医者にかかれること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	2.1 < 0.3 >	1.5 < 0.3 >	(▲0.6) < 0.4 >	0.6 < 0.2 >	(▲0.8) * < 0.3 >	
Q6 必要な時に歯医者にかかれること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	4.2 < 0.4 >	2.8 < 0.4 >	(▲1.4) * < 0.6 >	1.6 < 0.3 >	(▲1.2) * < 0.5 >	
Q7 炊飯器の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	2.1 < 0.3 >	0.1 < 0.1 >	(▲2.0) * < 0.3 >	0.1 < 0.1 >	(▲0.0) < 0.1 >	
Q8 電気掃除機の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	0.5 < 0.2 >	0.3 < 0.1 >	(▲0.3) < 0.2 >	0.1 < 0.1 >	(▲0.1) < 0.1 >	
Q9 電話（固定電話）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）		0.8 < 0.2 >	(-)	0.6 < 0.2 >	(▲0.2) < 0.3 >	
Q10 携帯電話（スマートフォン、PHSを含む）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	1.1 < 0.2 >	0.5 < 0.2 >	(▲0.7) * < 0.3 >	0.3 < 0.1 >	(▲0.2) < 0.2 >	
Q11 親戚の冠婚葬祭への出席 （回答）ほとんど・まったく出席しない （金銭的に余裕がないから）	1.7 < 0.3 >	1.1 < 0.2 >	(▲0.6) < 0.4 >	0.7 < 0.2 >	(▲0.4) < 0.3 >	
Q12 急な出費への対応 （回答）対応できない		21.7 < 0.9 >	(-)	17.0 < 0.9 >	(▲4.7) * < 1.3 >	
Q13 生命保険等への加入（死亡・障害・病気など） （回答）加入していない（金銭的に余裕がないから）	8.3 < 0.6 >	6.2 < 0.5 >	(▲2.1) * < 0.8 >	5.7 < 0.5 >	(▲0.5) < 0.8 >	

※ 「その他の世帯」は、高齢者世帯・母子世帯以外の世帯。傷病者・障害者世帯を含む。

※ 上記は「家庭の生活実態及び生活意識に関する調査」による集計。同調査では、生活保護受給世帯は社会保障生計調査の調査世帯を対象とし、一般世帯は国民生活基礎調査の一部を対象としている。

※ 生活保護受給世帯の集計は、世帯類型別・級地別に被保護世帯（被保護者調査による全数）を母集団とする拡大乗数を設定して集計。

※ 被保護世帯と一般世帯の世帯類型・地域構成の違い、及び、経年の世帯類型・地域構成の変化による影響を除去する観点から、被保護世帯と一般世帯のいずれの集計も、令和元年度被保護者調査における世帯類型・級地構成により補正している。

※ 社会的必需品項目は、先行研究「2011暮らしに関する意識調査」（社会的必需品調査）＜厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）「貧困・格差の実態と貧困対策の効果に関する研究」（平成22～24年度、研究代表者 阿部彩）＞の調査結果より、社会的必需項目であると判定された項目（50%以上の回答者が必要であると回答したもの）に対応する同調査の項目を選定している。

※ 生活保護受給世帯における社会的必需項目の不足状況は、様々な要因により変化するものであり、必ずしも生活扶助基準の見直しによる変化を示すものではない。

※ 上記の世帯類型には、集計世帯数がわずかな世帯類型が含まれていることから、数字の評価をするにあたっては、相当程度の幅をもってみる必要がある。

※ <>内は各集計結果にかかる標準誤差。| [平均の差] | > 1.96 × [標準誤差]の場合に表中に*印をつけている。

④生活保護受給世帯と一般世帯の社会的必需項目の不足状況（7／7）

その他(※)の3人世帯

生活保護受給世帯

社会的必需項目	n=46		n=35		(単位：%、%pt) n=23	
	平成22年7月		平成28年7月		令和元年7月	
	該当割合 (A)	該当割合 (B)	(B)－(A)	該当割合 (C)	(C)－(B)	
Q1 食事の頻度（1日2回以上） （回答）していない（金銭的に余裕がないから）		1.6 < 2.2 >	(-)	0.0 < 0.0 >	(▲1.6) < 2.2 >	
Q2 肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度（毎日） （回答）摂っていない（金銭的に余裕がないから）		0.0 < 0.0 >	(-)	2.2 < 4.2 >	(+2.2) < 4.2 >	
Q3 野菜の摂取の頻度（1日1回以上） （回答）食べていない（金銭的に余裕がないから）		0.0 < 0.0 >	(-)	0.0 < 0.0 >	(+0.0) < 0.0 >	
Q4 新しい下着の購入頻度（1年に1回以上） （回答）ほとんど購入しない	5.6 < 4.3 >	7.7 < 4.8 >	(+2.1) < 6.5 >	6.5 < 7.0 >	(▲1.2) < 8.5 >	
Q5 必要な時に医者にかかること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	0.0 < 0.0 >	1.6 < 2.2 >	(+1.6) < 2.2 >	0.0 < 0.0 >	(▲1.6) < 2.2 >	
Q6 必要な時に歯医者にかかること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	2.7 < 3.1 >	3.8 < 3.4 >	(+1.1) < 4.6 >	0.0 < 0.0 >	(▲3.8) < 3.4 >	
Q7 炊飯器の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	8.0 < 5.1 >	0.0 < 0.0 >	(▲8.0) < 5.1 >	0.0 < 0.0 >	(+0.0) < 0.0 >	
Q8 電気掃除機の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	2.5 < 3.0 >	4.8 < 3.8 >	(+2.3) < 4.8 >	4.3 < 5.8 >	(▲0.5) < 6.9 >	
Q9 電話（固定電話）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）		13.9 < 6.2 >	(-)	0.0 < 0.0 >	(▲13.9) * < 6.2 >	
Q10 携帯電話（スマートフォン、PHSを含む）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	3.2 < 3.3 >	0.0 < 0.0 >	(▲3.2) < 3.3 >	0.0 < 0.0 >	(+0.0) < 0.0 >	
Q11 親戚の冠婚葬祭への出席 （回答）ほとんど・まったく出席しない （金銭的に余裕がないから）	29.8 < 8.6 >	22.5 < 7.5 >	(▲7.2) < 11.4 >	6.6 < 7.0 >	(▲15.9) < 10.3 >	
Q12 急な出費への対応 （回答）対応できない		82.0 < 6.9 >	(-)	64.6 < 13.6 >	(▲17.5) < 15.2 >	
Q13 生命保険等への加入（死亡・障害・病気など） （回答）加入していない（金銭的に余裕がないから）	45.3 < 9.4 >	45.0 < 8.9 >	(▲0.3) < 13.0 >	33.8 < 13.4 >	(▲11.3) < 16.1 >	

一般世帯

社会的必需項目	n=3,941		n=3,915		(単位：%、%pt) n=3,526	
	平成22年7月		平成28年7月		令和元年7月	
	該当割合 (A)	該当割合 (B)	(B)－(A)	該当割合 (C)	(C)－(B)	
Q1 食事の頻度（1日2回以上） （回答）していない（金銭的に余裕がないから）		0.4 < 0.1 >	(-)	0.4 < 0.2 >	(+0.1) < 0.2 >	
Q2 肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度（毎日） （回答）摂っていない（金銭的に余裕がないから）		0.3 < 0.1 >	(-)	0.5 < 0.2 >	(+0.2) < 0.2 >	
Q3 野菜の摂取の頻度（1日1回以上） （回答）食べていない（金銭的に余裕がないから）		0.6 < 0.2 >	(-)	0.7 < 0.2 >	(+0.1) < 0.3 >	
Q4 新しい下着の購入頻度（1年に1回以上） （回答）ほとんど購入しない	5.9 < 0.5 >	5.2 < 0.5 >	(▲0.7) < 0.7 >	6.6 < 0.6 >	(+1.4) < 0.8 >	
Q5 必要な時に医者にかかること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	1.1 < 0.2 >	0.8 < 0.2 >	(▲0.3) < 0.3 >	0.6 < 0.2 >	(▲0.3) < 0.3 >	
Q6 必要な時に歯医者にかかること （回答）かかっていない（金銭的に余裕がないから）	2.7 < 0.4 >	2.3 < 0.3 >	(▲0.4) < 0.5 >	1.3 < 0.3 >	(▲1.0) * < 0.4 >	
Q7 炊飯器の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	1.5 < 0.3 >	0.0 < 0.0 >	(▲1.4) * < 0.3 >	0.0 < 0.0 >	(▲0.0) < 0.0 >	
Q8 電気掃除機の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	0.4 < 0.1 >	0.1 < 0.1 >	(▲0.3) < 0.2 >	0.1 < 0.1 >	(▲0.1) < 0.1 >	
Q9 電話（固定電話）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）		1.2 < 0.2 >	(-)	0.4 < 0.2 >	(▲0.8) * < 0.3 >	
Q10 携帯電話（スマートフォン、PHSを含む）の保有 （回答）ない（金銭的に余裕がないから）	0.9 < 0.2 >	0.4 < 0.1 >	(▲0.5) * < 0.3 >	0.3 < 0.1 >	(▲0.1) < 0.2 >	
Q11 親戚の冠婚葬祭への出席 （回答）ほとんど・まったく出席しない （金銭的に余裕がないから）	1.4 < 0.3 >	1.0 < 0.2 >	(▲0.4) < 0.3 >	0.5 < 0.2 >	(▲0.5) < 0.3 >	
Q12 急な出費への対応 （回答）対応できない		22.6 < 0.9 >	(-)	17.1 < 0.9 >	(▲5.5) * < 1.3 >	
Q13 生命保険等への加入（死亡・障害・病気など） （回答）加入していない（金銭的に余裕がないから）	6.8 < 0.5 >	5.5 < 0.5 >	(▲1.3) < 0.7 >	4.4 < 0.5 >	(▲1.1) < 0.7 >	

※ 「その他の世帯」は、高齢者世帯・母子世帯以外の世帯。傷病者・障害者世帯を含む。

※ 上記は「家庭の生活実態及び生活意識に関する調査」による集計。同調査では、生活保護受給世帯は社会保障生計調査の調査世帯を対象とし、一般世帯は国民生活基礎調査の一部を対象としている。

※ 生活保護受給世帯の集計は、世帯類型別・級地別に被保護世帯（被保護者調査による全数）を母集団とする拡大乗数を設定して集計。

※ 被保護世帯と一般世帯の世帯類型・地域構成の違い、及び、経年の世帯類型・地域構成の変化による影響を除去する観点から、被保護世帯と一般世帯のいずれの集計も、令和元年度被保護者調査における世帯類型・級地構成により補正している。

※ 社会的必需項目は、先行研究「2011暮らしに関する意識調査」（社会的必需品調査）＜厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）「貧困・格差の実態と貧困対策の効果に関する研究」（平成22～24年度、研究代表者 阿部彩）＞の調査結果より、社会的必需項目であると判定された項目（50%以上の回答者が必要であると回答したもの）に対応する同調査の項目を選定している。

※ 生活保護受給世帯における社会的必需項目の不足状況は、様々な要因により変化するものであり、必ずしも生活扶助基準の見直しによる変化を示すものではない。

※ 上記の世帯類型には、集計世帯数がわずかな世帯類型が含まれていることから、数字の評価をするにあたっては、相当程度の幅をもって見る必要がある。

※ <>内は各集計結果にかかる標準誤差。| [平均の差] | > 1.96 × [標準誤差] の場合に表中に * 印をつけている。